

男性同士で
ちょっと息抜き

～介護の中での毎日の食事について～

男性介護者の料理セミナーと交流のつどい

在宅介護は買い物・食事作り・掃除などの生活の中にあります。介護の中での毎日の食事について、栄養や食事づくりの工夫の仕方などベテラン管理栄養士さんがお話しします。家族を介護する男性同士で介護の悩みなどを気兼ねなくお話ししながら行います。ご参加をお待ちしております。

家族や自分の健康が気になる…

毎日の献立を考え、食事を作ることは大変だな…

介護の中で悩みは多いし、こんな思い、自分だけだと思っていた…。



とき

令和元年9月3日(火) 11:00～14:00

参加費 無料

ところ

十日市きんさいセンター調理室 (三次市十日市南一丁目2番18号)
会場の駐車場に駐車された方は、駐車料金無料(受付時に駐車券を出してください。)

対象

三次市内にお住まいの方で、おおむね要介護1以上の認定を受けられた方を在宅で介護されている男性介護者。
定員20名(申込先着順)

内容

- ☆ 管理栄養士の本藤望美さんから、在宅介護の中での食事作りに関する工夫や栄養についてお話を聞きます。
- ☆ 作って、食べて、みんなで日頃の介護の情報交換をします。



講師の紹介
管理栄養士 本藤 望美氏
三次市君田町在住
三次地区医療センターで管理栄養士として20年間勤務。
在宅介護で支援できることを積極的に考えておられます。

申込み

裏面の申込書にて 8月26日(月)までに、電話・FAX・電子メールのいずれかでお申し込みください。 ※送迎が必要な方はご相談ください。

〈お問い合わせ・申し込み先〉
三次市社会福祉協議会 地域福祉課 (担当:天野・高橋)
三次市十日市東三丁目14番1号 三次市福祉保健センター2階
TEL: 0824-63-3340 FAX: 0824-62-6827
E-メール: mycity3@ca.wakwak.com
または三次市社会福祉協議会各支所まで

※ この事業は三次市の委託により実施します。

☆介護に関するちょっと情報☆

○三次市認知症高齢者生活援助事業

認知症高齢者を介護している世帯へホームヘルパーを派遣し、介護者不在時の見守りなどを行い、介護者等の負担を軽減するサービスです。臨時的な利用、長期的な利用、どちらにも使えるサービスです。

(1)介護者の不在時の見守り

(2)介護者が在宅中であっても見守りができない場合の見守り

(3)その他、市長が特に必要と認めた場合の生活援助

※週2回以内、1回あたり1時間以上4時間までの利用となります。

※申請書の内容を審査し、決定されます。

※利用者負担 無料

このサービスの詳細については、三次市福祉保健部高齢者福祉課高齢者福祉係におたずねください。 電話0824-62-6145

男性介護者交流のつどい参加申込書

☆参加者のお名前(ご年齢)・住所・電話番号

お名前

(年齢 才)

住所 三次市

電話番号(当日連絡がとれる番号をお書きください。)

☆送迎が必要ですか?(いずれかに○)

不要 ・ 必要→ 乗降場所をご記入ください。

事前にお聞かせください。(当日、講師等からお答えしていく予定です。)

☆食事作りや栄養のことなどでお困りのことをご記入ください。

☆講師等に、聞いてみたいことをご記入ください。

☆介護に関することについて、困っていることをご記入ください。

※この申込書に記載された個人情報は、この事業の運営以外には使用しません。